

町立図書館や地域との様々な連携

～移動図書館・読み聞かせ・親子で聞く怖～いお話の会～

福井県 池田町立池田小学校

基本データ

所在地	今立郡池田町稲荷 6-1
児童生徒数	83 人
教職員数	15 人
蔵書数	約 8,500 冊
年間貸出冊数	約 4,100 冊

テーマ・活動のねらい等

【テーマ】公共図書館、地域との連携体制、ネットワークの構築、読書啓発・指導

【活動のねらい】

- (1) 移動図書館
学校の図書室にはない本を借りることができる。学年ごとに読んでほしい本を読むことができる。季節や行事にあった本を楽しむ。
- (2) 地域の方による読み聞かせ
様々なジャンルの本を楽しむ。季節に合った本を楽しむ。地域の方による読み聞かせをしてもらうことで、地域の方との関わる時間を持つ。
- (3) 親子で聞く怖～いお話の会
親子で話を楽しむ機会を設ける。会場を暗くし、夏ならではの怖い雰囲気を楽しむ。

取組・活動の概要

(1) 移動図書館

- 全学年を対象に、隔週での実施。
- 町立図書館の本を学校へ運び、そこで貸し出しを行う。
- カードを作り、50冊借りると、図書館からプレゼントがもらえる。

(2) 地域の方による読み聞かせ

- 全学年を対象に、毎週木曜日に実施。
- 地域の方に来ていただき、朝のぐんぐんタイムの時間に読み聞かせを行っていただく。



地域の方による読み聞かせ

(3) 親子で聞く 怖～いお話の会

- 全学年を対象に、1学期の保護者会の日に設定。
- チケットを渡して会場に入り、親子でお話を聞く。保護者は基本的に一番下の学年に入る。上の学年の児童は、弟や妹の学年に行き、保護者と一緒に聞いてもいいし、自分の学年の場所で友達と一緒に聞いてもいい。
- 怖いお話が苦手な児童・保護者は、図書室で読書をすることができる。もし、途中で怖くなったら、出入り口から出て、図書室に行ってもよいこととし、無理をしなくてもよいと伝える。



親子で聞く 怖～いお話の会

取組・活動の工夫や特徴

(1) 移動図書館

- 町立図書館の方が、対象学年ごとにボックスを分けて児童が本を選びやすくしている。
- カードをつくることで、目に見えて自分の冊数がかかる。
- 町立図書館の方も、児童の好きな本のジャンルを知り、次回の選書に役立てている。
- 季節に合った本(ハロウィン、クリスマスなど)を借りることができるようにしている。

(2) 地域の方による読み聞かせ

- 毎週決まった時間に来ていただくことで、その時間を楽しみに待っている児童が多い。
- 低学年だけでなく、高学年でも読み聞かせを行うので、全学年が本を楽しみに聞く時間になっている。また、集中して真剣に聞く時間になっている。

(3) 親子で聞く 怖～いお話の会

- 衣装を着てお面をかぶって演技をしたり、スクリーンを使ったり、教員も出演したりして、児童や保護者が楽しめる工夫がされていた。
- 毎年開催しているが、どのお話もとても楽しめた。

取組・活動の成果や今後の展望

(1) 移動図書館

- 限られた本の中から自分が読みたい本を選ぶので、選びやすい。
- 5冊まで借りることができるので、学校の図書室以外の本も2週間の中でたくさん読むことができる。
- 本を選びながら、図書館の職員の方との会話も楽しむことができる。

(2) 地域の方による読み聞かせ

- 読んでもらった本に興味を持ち、その後自分でももう一回読む児童が増えた。

(3) 親子で聞く 怖～いお話の会

- 怖い話に興味を持つ児童が増え、図書室内の利用が増えた。